

私たち

地域おこし協力隊!

市では、地域をもっと元気にするため、現在8人の隊員が活動しています。本年度、新たに隊員となった2人の活動などを紹介します。

☎ 企画調整課 ☎ 626-7534

地域の文化を後世に伝えたい

地域おこし協力隊になった理由は

昨年7月に着任しました。以前は東京で大学の職員として働いていましたが、観光で盛岡を訪れ、四季によって変化する自然や地元の旬の食材を使ったおいしい食事、伝統的なお祭りや行事に魅了されました。盛岡特有の文化や暮らしについてもっと知りたい、後世に残したいと思い、地域おこし協力隊に応募しました。



そばの実の刈り取りの様子



農政課
高橋 佑未 隊員

農政課
知念 侑希 隊員

人と動物の共存のため

地域おこし協力隊になった理由は

以前は東京でフリーカメラマンをしていました。東北でリンゴ農家を営む親戚から、野生動物による農業被害の状況を聞いたことをきっかけに、その対策に関するイベントに参加しました。その際に、盛岡の協力隊のことを知って応募しました。

昨年9月から、市内の山間部を中心に野生鳥獣による農作物などの被害を抑えるための活動をしています。



畑についたクマの足跡



築川高館剣舞

地域のいま

築川地域では、「朝霧そばの栽培」や伝統文化である「築川高館剣舞」などが現在も受け継がれています。しかし、人口減少や高齢化が進み、後継者不足でその存続が危ぶまれています。他にも、切り株をくり抜いてお風呂を作るなど高い技術を持つ人たちがいますが、今はその技術を地域外の人にも知ってもらおう場や機会がないことが課題となっています。



レーダーで捉えたクマの様子

地域のいま

近年、自然の餌が少なくなり、クマなどが人里に下りてくる件数が増えています。そのクマとの遭遇でけがをする人や農作物の被害の大きさに、耕作をやめる農家もでてきています。耕作放棄地が増えると、動物はさらに人間の領域に侵入しやすくなり、その結果、駆除せざるを得ない動物も増えて悪循環に――。

この現状を、多くの人に関心をもってもらうことで、被害を減らすきっかけにしたいです。

これからの活動目標について

朝霧そばは、寒暖差が生み出す糖度や旨みが特徴で、天日干しにこだわっています。また、各家庭では、手打ちで丁寧を作っているところが多いです。ここでは、時間をかけて手作りする楽しさと大切さを実感でき、街なかとは少し違った暮らしが体験できます。築川地域の文化を、子どもたちや若い世代をはじめ、多くの人に知ってもらい、ここでの暮らしが実際に体験できる場を提供していきたいです。



手打ちそば作り

これからの活動目標について

市と猟友会の野生鳥獣対策活動を通して、農業被害の実態や対策のノウハウを学んでいます。今後は、その情報を農家の皆さんと共有していきたいです。市民の皆さんには、農業を続ける人と野生動物とのバランスについて知ってもらいたいです。

まずは、狩猟免許と猟友会で学んだ知識などを生かし、適正な駆除に取り組むなど農家の支援を進め、将来的には人と動物が共存できる環境をつくっていきたいです。



わなをかける様子

地域おこし協力隊募集中!

首都圏などの都市部に住んでいる人などを対象に、地域おこし活動に携わる協力隊員を募集しています。活動テーマや応募方法など詳しくは、市ホームページをご覧ください。

市ホームページはこちら→



【主な活動テーマ】

- ・市総合交流ターミナルの利用促進と地域活性化
- ・獣害から「農のめぐみ」を守るプロジェクト
- ・金山の里・大ヶ生地域における山里暮らしの継承支援
- ・芸術文化によるまちづくりの推進 など



地域おこし協力隊の皆さん

もりけんに挑戦
(11ページに掲載)の答え
④ 鶴飼橋

広報もりおかへのご意見をお待ちしています
アンケート専用フォームから、特集や各記事への意見をお寄せください。あなたの意見が広報もりおかを育てます。



編集後記

今冬は久しぶりの大雪となりましたが、コロナの影響か市内で雪だるまをあまり見かけません。子どもたちが元気に屋外で活動できるようになってほしいものです。(鈴木)



地球環境に配慮し、ベジタブルインキを使用しています。